2.5 水質調査

2.5.1 調査概要

水質調査は表 2.5.1.1 に示す日程で実施した。

表 2.5.1.1 水質調査の実施日

平成 28 年度春季	平成 28 年 5 月 24 日
夏季	平成 28 年 8 月 4 日
秋季	平成 28 年 11 月 2 日
冬季	平成 29 年 1 月 11 日
平成 29 年度春季	平成 29 年 5 月 11 日
夏季	平成 29 年 8 月 22 日

2.5.2 調査結果

溶存酸素 (D0)、水素イオン濃度 (pH)、濁度、塩分濃度、水温の現地調査結果を図 2.5.2.1 ~図 2.5.2.6 に示す。

【溶存酸素量(D0)】

平成 28 年度の春季には比較的水深の深い St. 2(満潮時)、St. 3(満潮時)、St. 6(両潮時)では、水深が深くなるに従い低くなる傾向を示した。また、St. 3、St. 6 では、干潮時に水深 1m から 2m の間で大きく変化した。

夏季には、比較的水深の深い St. 2 (満潮時)の 1m 以深、St. 3 (両潮時)の 2.5m 以深、St. 6 (干潮時)の 2m 以深では、水深が深くなるに従い低くなる傾向を示した。なお、St. 3、St. 6 では干潮時に満潮時より全層で高かった。

秋季には、全地点において、水深が深くなるに従いやや低くなる傾向を示した。なお、St. 2、St. 3、St. 4、St. 5 では干潮時に満潮時より全層で高かった。

冬季には比較的水深の深い St. 3、St. 6 では、両潮時とも水深が深くなるに従いやや低くなる傾向を示した。また、St. 1、St. 4、St. 5 では、満潮時より干潮時に全層で高かった。

平成 29 年度の春季、夏季は St. 2(干潮時)の 2m以深、及び St. 6(干潮時)の 1m 以深で低くなる傾向を示した。

【水素イオン濃度(pH)】

平成28年度の春季には全層・全地点で概ね一様な分布傾向を示し、St. 5のみ満潮時にや や高い値であった。

夏季には全層・全地点で概ね一様な分布傾向を示し、比較的水深の深い St. 2、St. 3、St. 6 で干潮時に満潮時よりもやや高い値であった。

秋季、冬季には全層・全地点で概ね一様な分布傾向を示し、潮時による差はみられなかった。

平成 29 年度の春季には全層・全地点で概ね一様な分布傾向を示し、潮時による差はみられなかった。夏季には St. 2 (満潮時) の 2m 以深、St. 3、St. 6 の 1m 以深で低くなる傾向を示した。

【濁度】

平成28年度の春季には、全地点で概ね一様な分布傾向を示し、潮時による差はみられなかった。

夏季には満潮時には全地点で概ね一様な分布傾向を示した。干潮時にはSt. 2、St. 3、St. 4、St. 6 の表層付近と底層付近の差が顕著で、St. 3、St. 4、St. 6 では底層付近で高かった。 秋季には全地点において底層付近で高かった。

冬季には St. 5、St. 6 を除く全地点において底層付近で高かった。St. 5 では満潮時には底層で高かったが、干潮時には満潮時よりもかなり高く、表層より底層のほうがやや低い値を示した。St. 6 では全層 (両潮時) ほぼ同じような値を示した。

平成29年度の春季にはほぼ全地点において底層付近で高かった。St. 2、St. 3では表層の0.5m以浅でやや高い値を示した。夏季にはSt. 2、St. 3、St. 6の満潮時を除き、底層付近で高

【塩分】

平成28年度の春季には、比較的水深の深いSt.2、St.3、St.6では両潮時ともに水深が深くなるにつれて高くなる傾向を示した。なお、全地点、満潮時・干潮時とも表層は20未満と低かった。

夏季は春季と概ね同様の傾向であった。

秋季には全地点においてほぼ同じような値を示したが、0.5m以浅でやや低かった。

冬季には St. 4 の干潮時以外は概ね一様な分布傾向をした。全地点において、水深が深くなるとともに、高くなる傾向を示した。 St. 4 では干潮時には 0.1m で低い値がみられた。

平成29年度の春季には全地点において、満潮時・干潮時ともに水深が深くなるにつれて高くなる傾向を示した。なお、St.2、St.6の表層は20前後と低かった。夏季にはいずれの地点においても表層でおおむね10以下と低く、淡水流入の影響が認められた。

【水温】

平成28年度の春季には比較的水深の深いSt.2、St.3、St.6の満潮時、干潮時ともに水深が深くなるに従い低くなる傾向を示した。干潮時ではSt.2、St.3、St.6の表層付近で満潮時より高かった。

夏季には、比較的水深の深い St. 2、St. 3、St. 6 の満潮時は水深が深くなるに従い低くなる傾向を示した。干潮時には全地点で概ね一様な分布傾向を示した。なお、St. 2、St. 3、St. 6 では干潮時に満潮時より全層で高かった。

秋季には全地点においてほぼ同じような値を示したが、比較的水深の浅い St. 1、St. 4、St. 5 では、干潮時に 0.5m 以浅でやや低かった。

冬季にはほぼ全地点において、ほぼ一様な値を示した。St. 4 では干潮時には 0.1m~0.2m で低い値がみられた。

平成29年度の春季、夏季には全地点においてほぼ同じような値を示した。St. 2、St. 3、St. 6では、干潮時に表層でやや高くなっていた。

【クロロフィル】

平成28年度の春季には、比較的水深の深いSt.3、St.6では満潮時・干潮時ともに水深が深くなるに従い低くなる傾向を示した。St.1、St.2、St.4、St.5では満潮時に高く、干潮時に低い傾向を示した。

夏季にも春季と概ね同様の傾向であったが、St.5では満潮時・干潮時でほとんど差がなく、St.6の干潮時では、水深 1m 付近にピークがみられた。

秋季には全地点においてほぼ同じような値を示したが、St.3 では干潮時に 1m 付近にピークがみられ、St.6 では、干潮時に満潮時より全層で高かった。

冬季には St. 2 以外の地点においてはほぼ同じような値を示したが、St. 2 では、満潮時に 干潮時より全層で高かった。

平成29年度の春季にはSt.4、St.5、夏季にはSt.5を除いて、満潮時・干潮時ともに中層部でやや高い傾向がみられた。

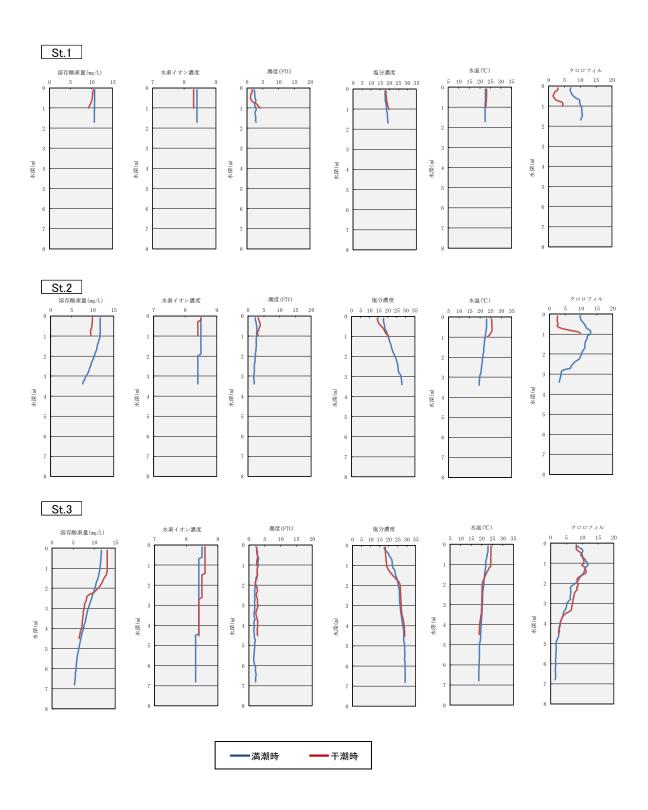


図 2.5.2.1(1) 水質現地調査結果(平成 28 年度春季)

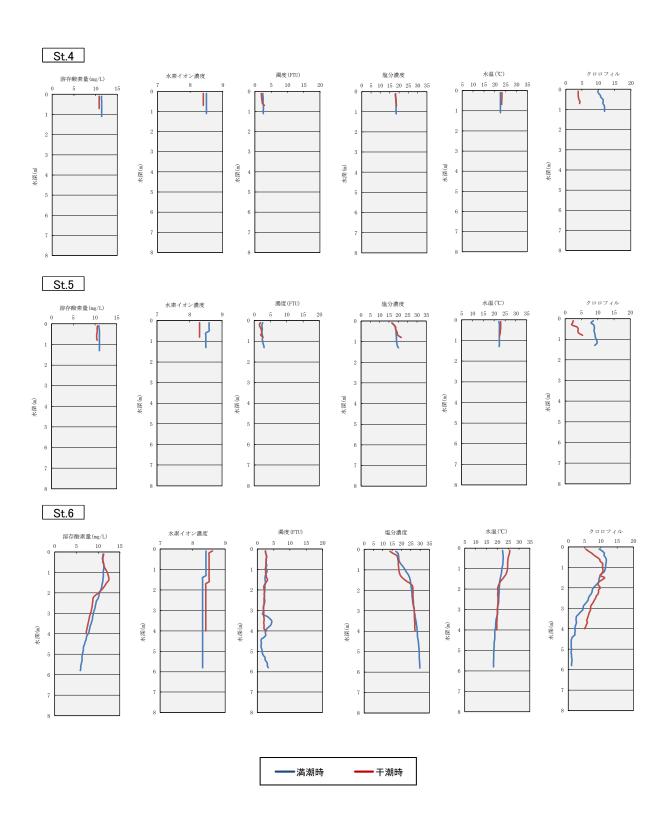


図 2.5.2.1(2) 水質現地調査結果(平成 28 年度春季)

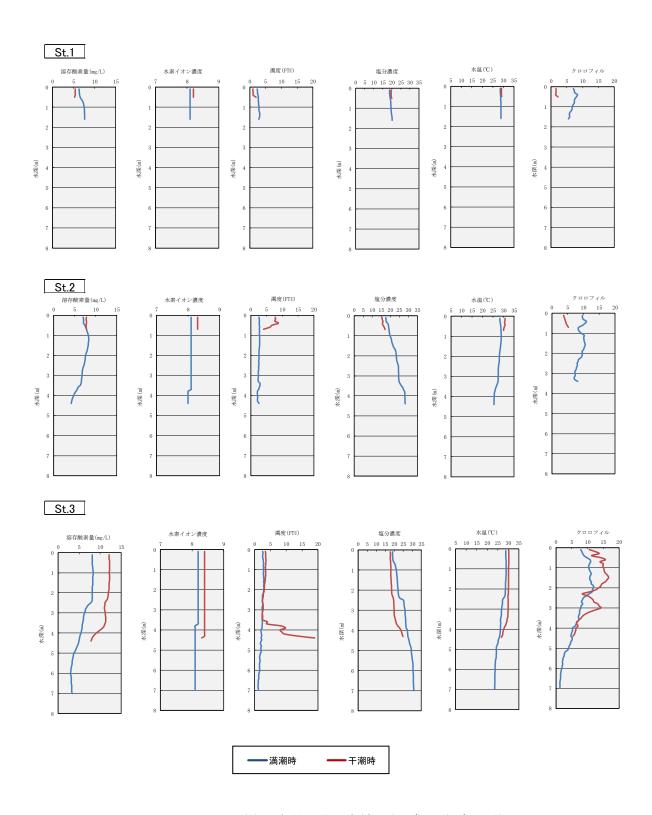


図 2.5.2.2(1) 水質現地調査結果(平成 28 年度夏季)

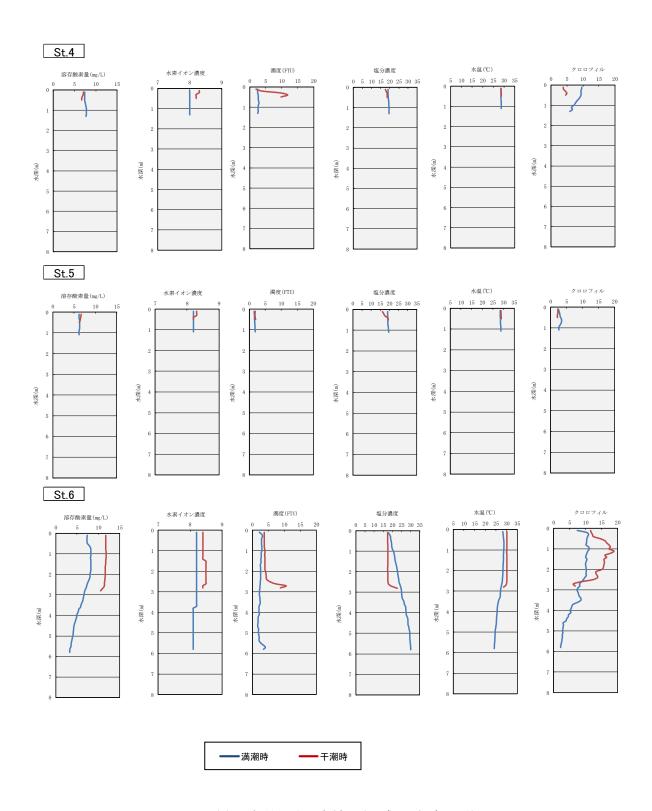


図 2.5.2.2(2) 水質現地調査結果(平成 28 年度夏季)

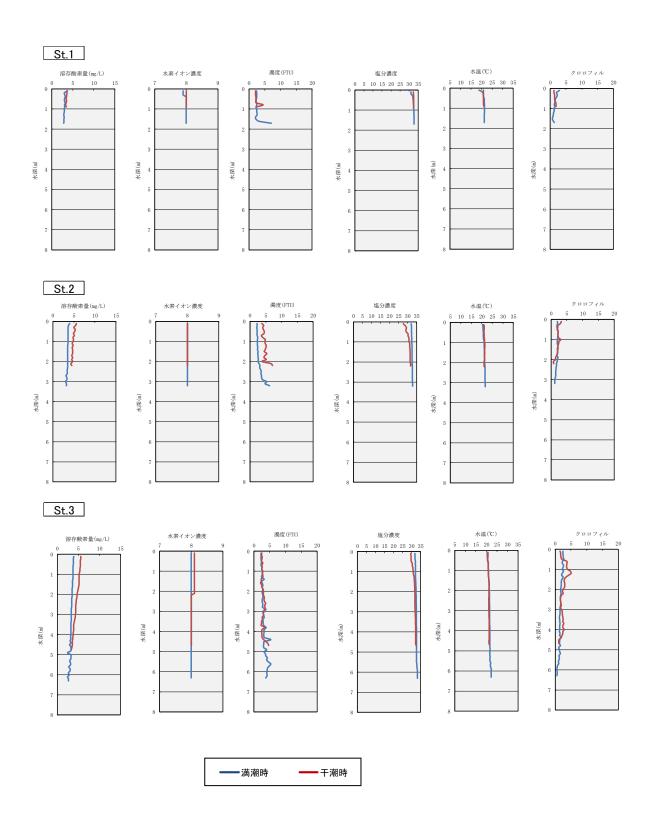


図 2.5.2.3(1) 水質現地調査結果(平成 28 年度秋季)

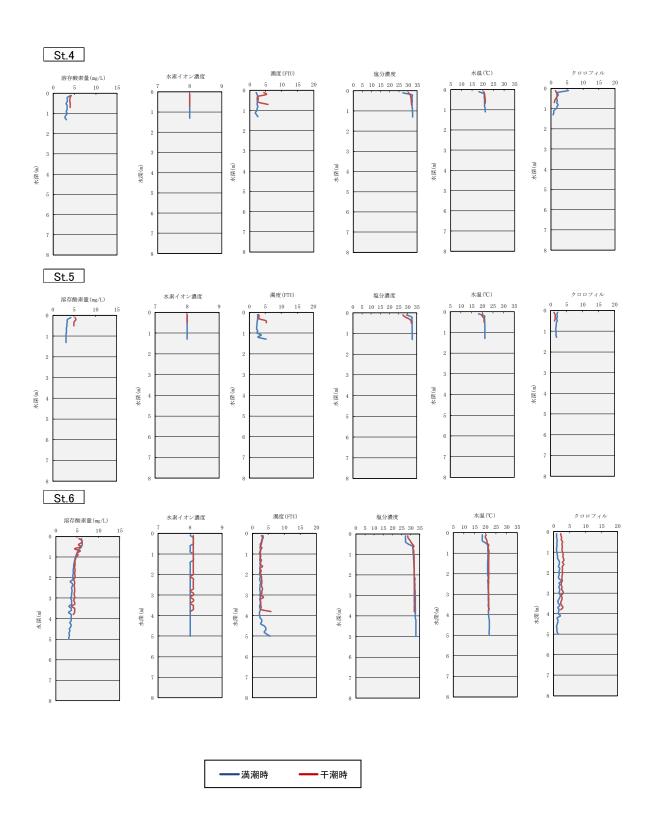


図 2.5.2.3(2) 水質現地調査結果(平成 28 年度秋季)

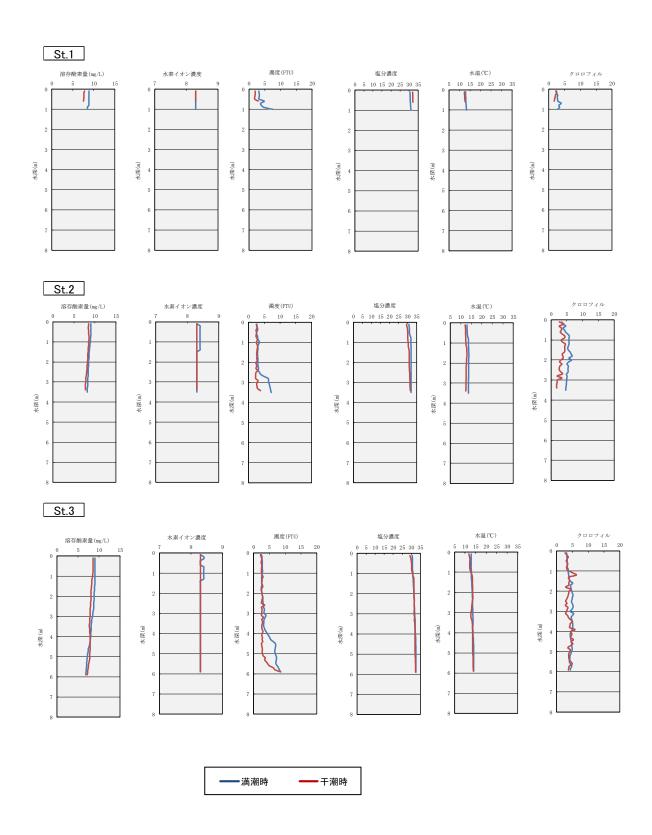


図 2.5.2.4(1) 水質現地調査結果(平成 28 年度冬季)

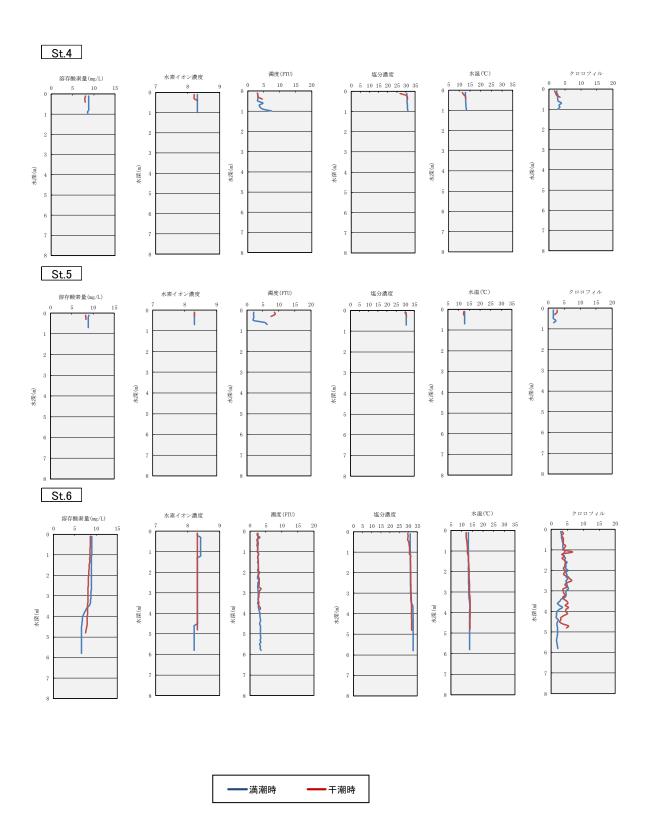


図 2.5.2.4(2) 水質現地調査結果(平成 28 年度冬季)

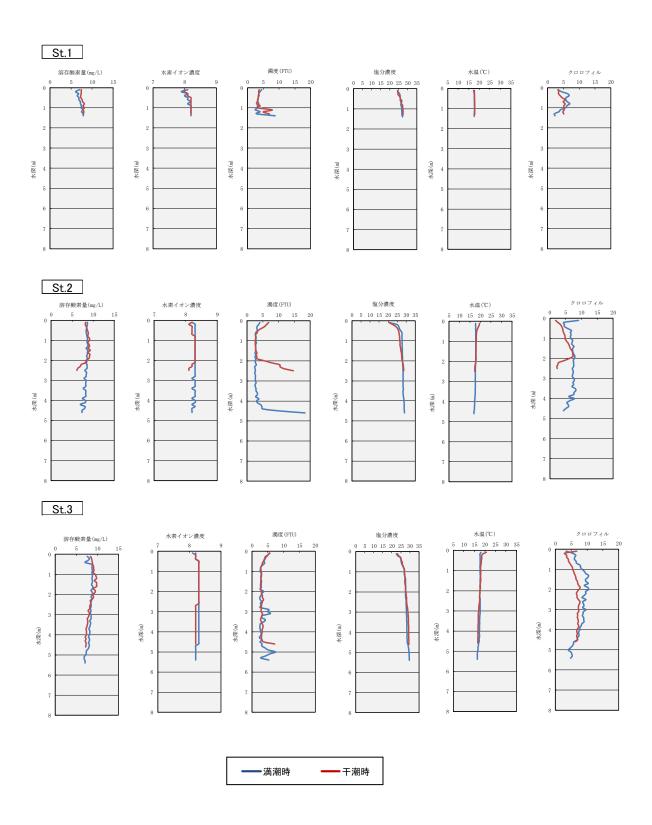


図 2.5.2.5(1) 水質現地調査結果(平成 29 年度春季)

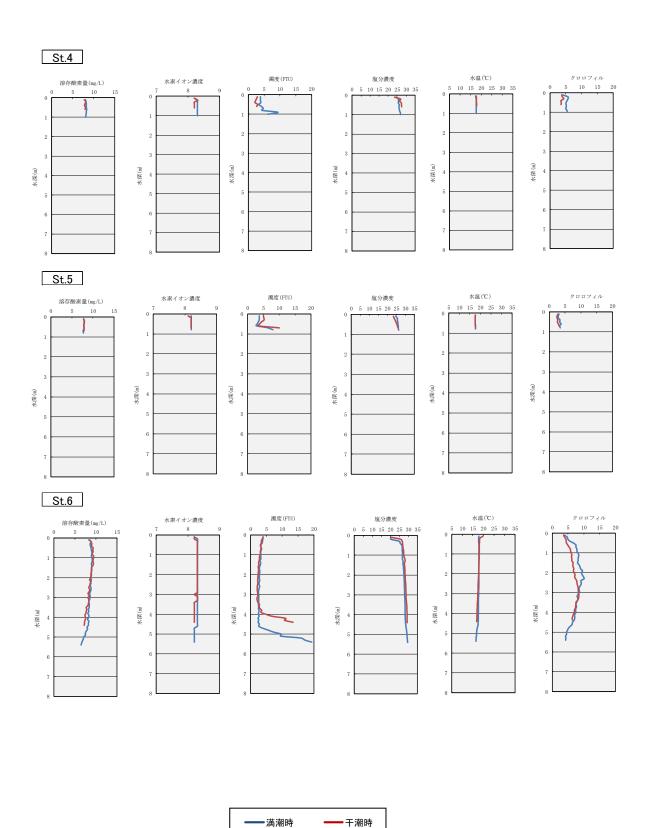


図 2.5.2.5(2) 水質現地調査結果(平成 29 年度春季)

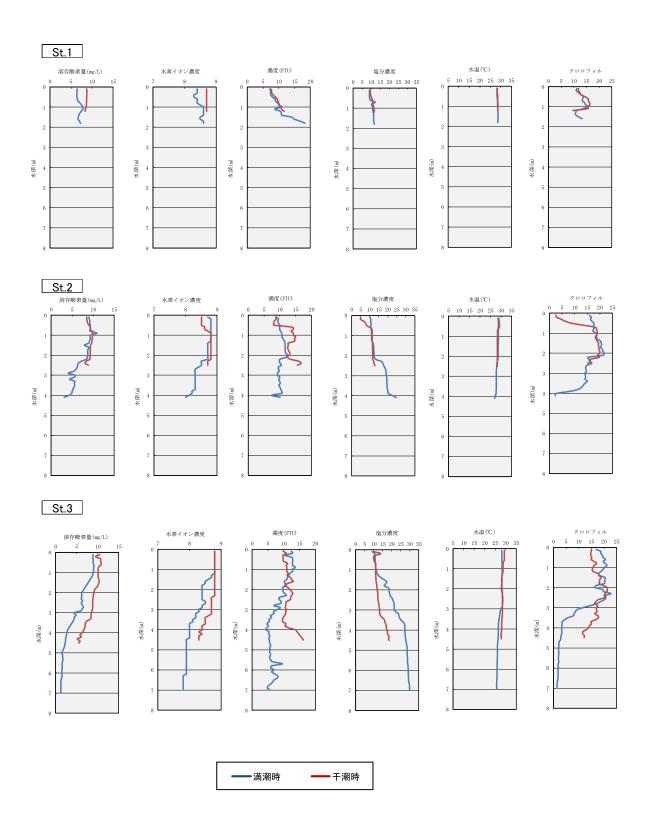


図 2.5.2.6(1) 水質現地調査結果(平成 29 年度夏季)

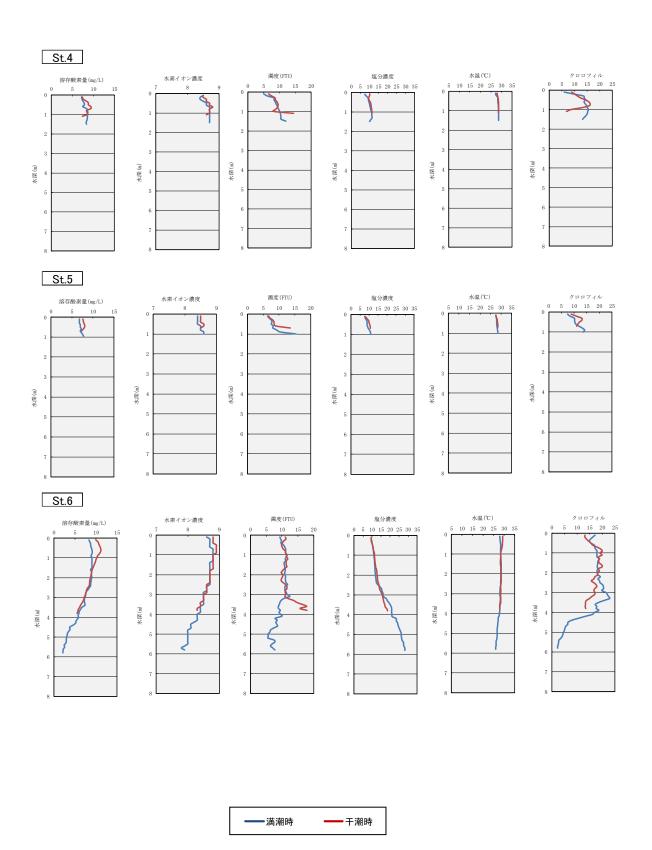


図 2.5.2.6(2) 水質現地調査結果(平成 29 年度夏季)